

マップ面 03 洪水・土砂災害ハザードマップ 南部地域(武庫川)

- ### 凡例
- 避難所
 - 避難所の詳細は情報面04の避難所一覧をご覧ください
 - 避難情報の発令前に開設
 - 土砂災害・洪水
 - 土砂災害のおそれが高まったときに開設
 - 土砂災害・洪水
 - 土砂災害・洪水
 - どちらかのおそれが高まったときに開設
 - 洪水
 - 避難情報の発令時に一斉開設(警戒レベル3 高齢者等避難以上)

- 高潮・洪水
 - 高潮のおそれが高まったときに開設
 - 高潮・洪水
 - どちらかのおそれが高まったときに開設
- 警戒レベル4 避難指示 発令時には津波避難ビルへの緊急一時避難可能
- その他の避難所
 - 水位観測所
 - 市役所本庁・支所
 - 防災スピーカー
 - アンダーパス
 - 警察署・交番
 - 立体橋脚施設
 - 消防署

洪水 上流の三田市や宝塚市等で、大雨が降り続くと...

武庫川の水位が上がり、堤防を越えたり堤防が決壊し、浸水することがあります。

※ 上流への大雨の予測等を参考に早めに避難情報を発表します。より安全な川から離れた地域や西方の広い地域への早めの避難を検討してください。

計画規模	想定最大規模
発生頻度が100年に1回の大雨 24時間流域平均降水量(武庫川) 247mm	発生頻度が1000年以上に1回の大雨 24時間流域平均降水量(武庫川) 511mm

※ 計画規模の洪水でも広範囲で浸水が想定されています。

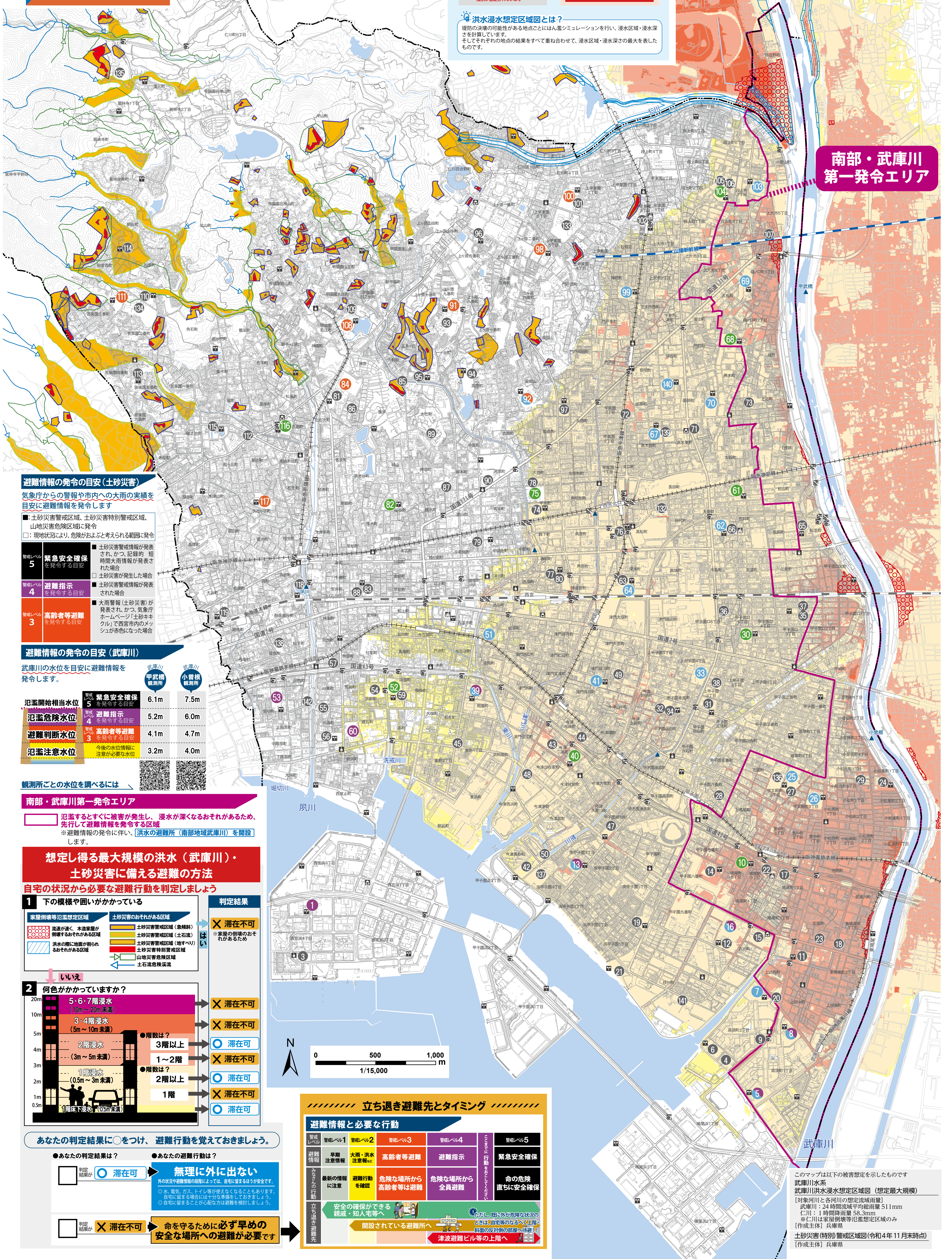
洪水浸水想定区域図とは？
堤防の決壊の可能性のある地点ごとにはん濫シミュレーションを行い、浸水区域・浸水深さを計算しています。そしてそれぞれの地点の結果をすべて重ね合わせて、浸水区域・浸水深さの最大を表したものです。

土砂災害 土砂災害警戒区域は危険度に応じて2つに分けられています

土砂災害警戒区域
土砂災害のおそれがある区域で、土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危険が生じるおそれがあると認められる区域です。

土砂災害特別警戒区域
土砂災害のおそれがある区域で、土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域です。

山地災害危険区域とは？
山崩れ、土石流、地すべりなどによって人家や公共施設などに被害を与えるおそれのある溪流などについて調査を行い、一定の基準以上の危険度であると判定した地区とその被害想定区域の両方をまとめて表示した区域です。



南部・武庫川第一発令エリア

避難情報の発令の目安(土砂災害)

気象庁からの警報や市内への大雨の実績を目安に避難情報を発令します

- 土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域、山地災害危険区域に発令
- 現地状況により、危険がおよぶと考えられる範囲に発令

警戒レベル	発令する目安
5	緊急安全確保を発令する目安
4	避難指示を発令する目安
3	高齢者等避難を発令する目安

避難情報の発令の目安(武庫川)

武庫川の水位を目安に避難情報を発令します。

水位	発令する目安	甲武庫観測所	小曾観測所
氾濫開始相当水位	緊急安全確保を発令する目安	6.1m	7.5m
氾濫危険水位	避難指示を発令する目安	5.2m	6.0m
避難判断水位	高齢者等避難を発令する目安	4.1m	4.7m
氾濫注意水位	今後の水位情報に注意が必要な水位	3.2m	4.0m

観測所ごとの水位を調べるには

南部・武庫川第一発令エリア

氾濫するとすぐに被害が発生し、浸水が深くなるおそれがあるため、先行して避難情報を発令する区域
※ 避難情報の発令に伴い、洪水の避難所(南部地域武庫川)を開設します。

想定し得る最大規模の洪水(武庫川)・土砂災害に備える避難の方法

自宅の状況から必要な避難行動を判定しましょう

1 下の模様や囲いがかかっている

判定結果	理由
× 滞在不可	土砂災害のおそれがある区域
○ 滞在可	土砂災害警戒区域(急傾斜)
○ 滞在可	土砂災害警戒区域(土石流)
○ 滞在可	土砂災害警戒区域(地すべり)
○ 滞在可	土砂災害特別警戒区域
○ 滞在可	山地災害危険区域
○ 滞在可	土石流危険渓流

2 何色がかかっていますか？

浸水深さ	判定結果
5・6・7階浸水(10m~20m未満)	× 滞在不可
3・4階浸水(5m~10m未満)	× 滞在不可
2階浸水(3m~5m未満)	○ 滞在可
1階浸水(0.5m~3m未満)	○ 滞在可
1階未満浸水(0.5m未満)	○ 滞在可

あなたの判定結果に○をつけ、避難行動を覚えておきましょう。

●あなたの判定結果は？ ●あなたの避難行動は？

判定結果が ○ 滞在可 → 無理に外に出ない
外の状態や避難情報の状況によっては、自宅に留まるほうが安全です。
○水、電気、ガス、トイレ等が使えなくなることもあります。自宅に留まる場合には十分な準備をしておきましょう。
○自宅に留まることか避難方法を選択しましょう。

判定結果が × 滞在不可 → 命を守るために必ず早めの安全な場所への避難が必要です

立ち退き避難先とタイミング

警戒レベル	避難行動
警戒レベル1	早期注意情報
警戒レベル2	大雨・洪水注意情報
警戒レベル3	高齢者等避難
警戒レベル4	避難指示
警戒レベル5	緊急安全確保

安全の確保ができる親戚・知人宅等へ
開設されている避難所へ
ただし、既に外に危険な状況のときは、自宅等のなるべく上階・狭間の反対側の部屋へ待避し、津波避難ビル等の上階へ

このマップは以下の被害想定を示したものです
武庫川水系
武庫川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)
【対象河川と各河川の想定流域雨量】
武庫川：24時間流域平均総雨量511mm
仁川：1時間降雨量58.3mm
※仁川は家庭倒壊等氾濫想定区域のみ
【作成主体】兵庫県
土砂災害(特別)警戒区域図(令和4年11月末時点)
【作成主体】兵庫県